

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー ハヌマーン	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	高校生
オプション		年齢	15(早生まれ)	性別	男
覚醒	無知	衝動	飢餓	初期侵食率	29 %
出自	双子	経験	平凡への反発	邂逅	幼子

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	36
肉体	2	1	0		4	7	行動値	8
感覚	3	0	0			3	(非装備時)	8
精神	2	0	0			2	戦闘移動	13
社会	1	0	0			1	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達	2	
運転:			芸術:			知識: 医学	2		情報: UGN	4	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
コネ: UGN	携帯用充電器				
コネ: 嗜好品の友人					
思い出の一品					
おうちのカギ					
ハンカチ・ティッシュ・タオル					
お財布					
パーカー・Tシャツ・ジーンズ・スニーカー					
小型ナイフ					
音楽機器・ヘッドホン					
リュック					
携帯					
最大財産P:	6	残り財産P:	2		

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
双子 兄 冬樹祐斗(ふゆき ゆうと)	P 尊敬	N 劣等感		
友人 西宮颯(にしみや りゅう)	P 友情	N 不信感		
幼子 テレーズ・ブルム	P 憧憬	N 嫉妬		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
実験体	P	N		

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
赫き剣	4	3	マイナー					
効果:	(LV)×2 以下の任意のHPを消費 攻撃力=消費したHP+8							
コンセントレイト(ブラム=ストーカー)	2	2	メジャー					
効果:	クリティカル値 - (LV)							
鮮血の一撃	2	2	メジャー					
効果:	ダイスを+(LV+1) HP-2消費							
一閃	1	2	メジャー					
効果:	戦闘移動							
さらなる波	4	2						
効果:	攻撃力+LV×2							
かしく歯車	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

高校一年生、無口でぶっきらぼう。しかしそこそこ面倒見は良い一面もたまにあり。意外と家事全般できる。双子の兄(支部長)がいる。兄と二人暮らし(ほぼ一人暮らし状態)。支部は違うがよく会いに行っている。学校で友人(と言ってくる)は一人のみ。本人は物好きな人間程度の思いだが何だかんだ一緒に居る。兄に憧れ、強くなりたいと思っているため普通の暮らしにはあまり興味なし。

実は元FHの実験体。母親が元FHエージェントであったが一般男性と結婚。その際に半ば強引にFHを抜けていた。数年後、両親と裕也はジャームに襲われ、両親は死亡。裕也も瀕死の重傷を負うが、この時にとあるオーヴァードに助けられ、保護される。この人物はFHエージェントであり研究員であった。この一連の流れは、すべて、FHの自作自演だった。幼かった裕也はこのエージェントを命の恩人であるヒーローと憧れる。この時まで、覚醒はしておらず、FHは裕也をウロボロス解明のための実験、及び、足りない実験体を補うための複製体製造としての素として扱うようにした。かなりひどい扱いではあったが「自分を助けてくれた人みたいになれるよ」という大人たちの言葉を信じ耐えた。中々オーヴァードとして覚醒はしなかったのが余計に実験に過酷さを増したが、ある日オーヴァードをして覚醒する。この時すでに体が限界を超えていたこと、また、実際にオーヴァードとしてはあまりにも弱く、とある1人の複製体の方が出来が良かったため、廃棄処分されることとなった。しかし、その複製体が裕也の廃棄処分を良しとせず、裕也を連れてその施設から脱走。逃げ出すこと自体は成功するも、裕也は大けがを負い、記憶を失ってしまう。その後UGNに保護され、現在に至る。

この、一緒に脱走した複製体こそ、現在の双子の兄である。